

後世に残す人吉の歴史 登録有形文化財（建造物）登録証伝達式

紺屋町の「公衆温泉新温泉」と「街蔵石倉（旧緑屋石倉）・街蔵麹室（旧緑屋麹室棟）」が2月27日付けで登録有形文化財に登録されたため、4月13日に市役所で登録証伝達式を行いました。登録有形文化財制度は、近代の古き良き建造物が開発や生活様式の変化などによって消滅するのを防ぎ、活用しながら後世に残すためのもの。

街蔵の所有者上田賢一さんは「令和2年7月豪雨で多くの古い建物がなくなりましたが、こうして街蔵や新温泉を文化財として残せてよかった」と話しました。



本市にある登録有形文化財は21件となった

稚鮎元気に飛び出す 球磨川漁業協同組合稚鮎の放流

矢黒町のひまわり亭付近の堤防で、4月12日に球磨川漁業協同組合が稚鮎の放流を行いました。体長5〜6センチ、重さ5グラムほどの稚鮎約3万4千匹は、放流された瞬間から勢いよく上流へ向かって泳ぎ出しました。球磨川は、30センチ以上の鮎「尺鮎」が釣れることで知られていて、6月の鮎釣り解禁を迎えると全国から多くの釣り愛好家が集まります。

同組合は、解禁までに球磨川の各所で250〜300万匹を目標に稚鮎を放流する予定です。



今年の稚鮎は例年より発育が良いそう

親子の集いの場がお引っ越し 九ちゃんクラブ移転オープン



保育サポーターやボランティアが常駐している



平日火〜金曜日の午前10時〜正午・午後1時〜4時まで利用可

0〜3歳くらいの未就学児とその保護者のための子育てひろば「ほっとステーション九ちゃんクラブ」が九日町からカルチャーパレスコミュニティ棟2階に移転し、4月18日にオープンしました。広さが2倍以上になり、最大で10組程度利用できます。無料で利用できますので気軽に立ち寄りください。

市が運営を委託している人吉球磨陽だまりの会の井手さんは「安心・安全に過ごせる施設を心掛けています。保護者同士の情報交換の場としても利用してください」と話しました。



場所は2階に上がって右の一番奥の部屋

子どもの健康と幸せを願って 石野公園こいのぼりオーナー

端午の節句に向けて人吉クラフトパーク石野公園が4月中旬から募集した「こいのぼりオーナー」に、今年は22件の申し込みがあり、同公園の正面階段で元気に泳いでいます。

大阪に住むお孫さんの初節句祝いに同オーナーに申し込んだ椎葉幸代さんは、「孫の名旗とこいのぼりが大空に泳ぎ出した瞬間を動画に撮って息子夫婦に送ってあげたらとても喜んでいました」と話し、人吉でのお祝いを心待ちにしていました。

5月末まで設置しています。ぜひ見に行ってみてください。



青空の下で風を受けて気持ちよさそうに泳ぐこいのぼり

運氣アップに開運切符はいかが くま川鉄道 麒麟切符販売

和暦年・月・日に全て「5」がそろう令和5年5月5日を記念して、くま川鉄道株式会社では縁起が良い漢字が入った5駅（人吉温泉駅、相良藩願成寺駅、おかどめ幸福駅、多良木駅、新鶴羽駅）の各入場券と専用台紙をセットにした「麒麟切符」を5月5日から販売します。

古代中国の自然哲学的思想の五行説で中央を守る「麒麟」と、四方を守る「青竜」「玄武」「白虎」「朱雀」の守護神を取り入れたデザイン。人吉温泉駅、あさぎり駅、オンラインショップ、郵送で購入できます。



1セット1,000円（税込み）で販売

希望を胸に学校生活をスタート 市内小・中学校入学式

市内の小・中学校で4月11日に入学式が行われ、小学校で260人、中学校で282人の新1年生が新たな学校生活をスタートしました。

中原小の式典では、緊張した面持ちで入場した新1年生たちでしたが、席に着き名前を呼ばれると大きな声で「はい！」と返事。6年生からは「学習や遊び、行事と一緒に楽しみましょう」と歓迎の言葉が贈られました。式典や入学説明が行われたあとは早速できた友だちと会話を楽しむなど、多くの笑顔が見られました。



中原小では54人の新1年生が入学した

交通ルールを守って命も守ろう 人吉地区交通安全協会入学祝い品寄贈

人吉地区交通安全協会から、4月6日に市内小学校の新1年生に向けた入学祝い品を頂きました。祝い品は、交通安全を呼び掛けるデザインが施された文具と、交通ルールが分かりやすく説明された『6つのおやくそく』という冊子の約280セット。

全国的に新1年生の交通事故が多いことから、入学式後や夏休み前などに交通安全教育の一環として学校の授業などで活用してもらうのが目的で、同協会の各支部長がそれぞれの小学校に配布しました。



ひらがな表記で新1年生でも読める冊子